

い状況でして、その原因として特定健診を受けていない方の医療費が高くなっています。

今後は、特定健診受診率向上、薄味の食事に慣れるための普及啓発等が必要だと考えています。

私の提唱する「保養と健康の町」は保健衛生的な分野だけの取り組みではなく、「健康づくりを支える町の産業づくり」と考えており、「健康づくり協議会」については、今後検討します。

峯野教育長

近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など、食生活の乱れや肥満、痩身傾向など、子どもの健康を取り巻く問題が深刻化しています。

本町の学校では、発達段階に応じて食育全体計画を作成し、教育活動全体を通して計画的に指導を行っています。

小学校では、毎年、体力向上と運動習慣の確立、望ましい生活習慣の形成を目的に「体力アップ100日作戦」を実施しています。

また、一貫教育の取り組みの一つとして月2回「自分で歩こうデー」を実施し、自力で通学することを通して子ども達の体力づくりや健康づくりを図っています。

牟岐町の子ども達の健康状態、発育状況については、全体的には、特に配慮すべき項目や課題はありませんが、今後も家庭、地域と連携を図りながら子ども達の健康づくりを推進してまいります。

就学援助の充実を

藤元議員

学校教育法第19条は「経済的理由によつて就学が困難と認められる学齢児、または学齢生徒の保護者に対しては、市町村は必要な援助を与えなければならない」としています。

法に規定されているように親の経済的理由により、子ども達の間に格差が生まれるなどということがあつ

てはなりませんし、子ども達の学ぶ権利、健やかに成長する機会が奪われてはなりません。また、貧困の連鎖は断ち切らなくてはなりません。

平成22年度からは、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が追加され、政府は、全国の市町村に徹底させるため要請文を届けた経過があります。しかし、本町においては、クラブ活動費が依然として支給されていません。支給している自治体は増えていますが、我々が子育てをしてきた時代とは比べものにならない厳しい労働環境があります。ぜひ一歩足を踏み出すべきではないでしょうか。

峯野教育長

準要保護就学援助の適用世帯数と認定者数は、26年度は、小学校14世帯20名、中学校9世帯10名になって

います。クラブ活動費については、他の支給品目に比べて児童生徒によって参加、不参加があることなどから公平性

に欠けるという課題がございます。県下には7市で支給していない状況になっており、近隣の美波町、海陽町、那賀町では、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を助成対象としています。また、認定基準が生活保護基準の1・3未満と他の市町村と比較しても高い水準を保っており、より幅広く経済的に困難な家庭に対し援助を行っています。

さらに、本年度は、消費税増税に伴う給食費の支給単価も増額しています。クラブ活動費については、公平性という課題がありますが、今後も検討してまいります。

臨時議会

平成26年10月27日第一回臨時議会が開かれ、次の議案を審議しました。

◎山田残土処理場条例の一部を改正する条例

山田残土処理場の残土処理費1.3m当たり1300円を2000円に改めるもの。
(原案可決)

◎工事請負契約の締結
山田地区残土処理場整備(第3分割)工事の請負契約を締結するもので、契約先は田中建設(株)、契約額は8510万4千円、工期は27年3月31日まで。
(原案可決)

◎26年度一般会計補正予算
離島航路事業貸付金、急傾斜地崩壊対策工事等を1220万円追加し、予算総額を29億2593万6千円と定めるもの。
(原案可決)

平成26年11月25日第二回臨時議会が開かれ、次の議案を審議しました。

◎職員給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に伴う給料表等の改定をするもの。
(採決の結果、原案可決)